



# 鹿島中学校だより 文月 和・輪・我 9月

平成23年9月発行  
薩摩川内市立鹿島中学校

「こだわり」に応える学びを  
校長 河野 通芳

国語で2学期が始まってからの教材には、俗に言う「平和教材」が並んでいます。光村の教科書では、1年の「大人になれなかった弟たちに……」、2年の「字のないはがき」などが、20年以上教科書に掲載し続けられている平和教材で、学んだり読まれた経験のある方も多いと思います。

向田邦子さんは小学校の低学年を鹿児島で過ごし、その印象の強さを自ら鹿児島を「ふるさとどき」として、幾度もエッセイの中で紹介しています。鹿児島市のふるさと文学館でも、常設展示や特別展などで紹介しています。手打出身の元県教委教育長の濱里先生は、講演の締めめに必ずこの話をされました。それほど鹿児島にもかかわりの深い作家の珠玉の文章です。

「大人になれなかった弟たちに……」は、NHK朝ドラ「ちりとてちん」で、主人公を演じた貫地谷しほりさんが、落語家を志すきっかけとなった祖父を演じた米倉斉加年さんが書かれた文章です。この話は、実話をもとにしたもので、『弟は静かに息をひきとりました。母と僕に見守られて、弟は死にました。病名はありません。栄養失調です……』にあるように、本来健やかに成長できるはずだった幼い命と、それを守るために必死に闘い、ついにかなわなかった母の姿を、近くにいながら、何もできなかった子どもの無念さをからめて描いた作品です。

実は「大人になれなかった」の中で私が気になった部分に、『母は弟が死んでいるのかの人に遠慮したのでしょうか、三里の道を歩きました。空は高く高く青く澄んでいました。ブーンブーンというB29独特のエンジンの音がして、青空にきらきらと機体が美しく輝いています。』という表現がありました。

私の実父は、終戦前に済州島沖の小島で、アメリカ海軍に取り囲まれ戦艦の艦砲射撃を受けたそうです。しかしそれ以上に怖かったのが、B29の絨毯爆撃だったといえます。B29 特有の「ブーン」という爆音を聞く度に「もう死ぬんだ。」と震えたと言っていました。終戦になり九死に一生を得た思いだったそうですが、終戦まであと1週間というところで、B29の猛爆で多くの戦友が亡くなったそうです。

B29 は、本来は日本軍の攻撃を避けて、1万メートルの高度から爆撃していましたが、終戦が近くなると、迎撃もなくなり、地上の目標を確実にねらい打ちできる低空まで下りてきたそうです。爆音が聞こえ、機影もはっきり見えることから、実は3000m以下の高度だったと思います。「ブーンブーン」爆撃の恐怖も厭わず、人っ子一人いない真昼の道を、亡き子どもを背に歩いて帰るのは、母の死を意識した行動だったのかもしれない。

母はその時「ヒロユキは幸せだった。母と兄とお医者さん、看護婦さんにみとられて死んだのだから。空襲の爆撃で死ねば、みんなばらばらで死ぬから……」と言っています。しかし、本心は、「もういい、私たちがこのまま死にたい」と思って歩いたのでないかという気がして、胸がいっぱいになってしまいます。

最初読んだときは気づかないことが、教材研究する中で分かってくることはよくあります。中には、確認のとれないことや、中学生のレベルには合わないこと、枝葉末節もあるので、授業の中で触れることは氷山の一角のようなものです。しかし、一見無駄で地道に見える教材研究の積み重ねが、実感のこもった「分かる授業」「できる授業」につながるのではないかと思います。

鹿島中の先生方も、「分かる授業」「できる授業」を目指し、それぞれの教科の「こだわり」をもって、教材研究を重ねていると信じます。生徒も、それぞれの島立を半年後に控え、生徒も自分の将来を見据え、「こだわり」をもって、本気で学習してほしいと思います。

## 10月の生活努力目標

「自分の考えをまとめ積極的に表現する」  
一事徹底事項 ◎自分の考えをノート等に記述  
◎自分の考えを挙手して発表

小中一貫  
コーナー

# 大成功 小中地域合同大運動会

節目の年の大運動会、保護者・地域の方、児童生徒のがんばりで、大成功でした。ご協力、ありがとうございました。

今年度も、薩摩川内市で推進している小中一貫教育を活かしての運動会を目指しました。例えば、入場・開閉会式も小中合同の紅白に分かれて実施しました。また、競技の中では、団体種目『あなたもタモでナイスキャッチ』『紅白対抗リレー』『綱引き』を合同で実施しました。団体種目では、中学3年生と小学2年生が仲良く手をつな



合同種目



走れ鹿島っ子

ぐ姿から、小中一貫教育のよさが伝わってきました。

中学校の種目は、団体種目『走れ鹿島っ子』で天草採りから心太完成までをリレーで表現しました。また、応援合戦では、昨年度までのそれぞれの組の流れを受け継ぎつつ、より中学生らしい内容に進化していました。さらに、職場対抗リレーには職員チームを2チーム編成し出場しました。そして、オニハ踊りは新たな踊りを加えての演技となりました。地域の方から「ここ数年で一番よかった。」という声をいただきました。ありがとうございます。



オニハ踊り

なお、運動会の詳しい様子は、裏面をご覧ください。

## 中期合同道徳授業

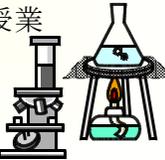


12日に小5・6年生、中1・2年生合同道徳授業が行われました。いじめについて考える内容でした。それぞれの考えをしっかりと発表できました。また別の学校の先生と学習したことで、これまで以上に親近感を高められました。

## 10月の行事

※現時点での予定です。

- 3日(月)：中間服移行期間(~14日)、全校朝会(真司君)
- 5日(水)：海星中学校との合同学習
- 6日(木)：生徒会役員改選
- 9日(日)：第7回薩摩川内市民運動会
- 13日(木)：中間テスト(~14日)
- 14日(金)：第2回英語検定(16:10~)
- 17日(月)：生徒朝会(孟志君)
- 18日(火)：地区新人総体(~19日)
- 24日(月)：全校朝会(英里さん) 理科研究授業
- 20日(木)：家庭学習の日
- 26日(水)：納金日
- 28日(金)：漢字検定(16:10~)



## フェンス付近等が整備 ~PTA奉仕作業~

10日(土)、奉仕作業へご協力いただき、ありがとうございました。校内が整然と美しくなり、快適な環境となりました。



## 新聞作り等を学ぶ ~第2回元気塾~



9日(金)南日本新聞社会部の記者を招いて元気塾がありました。震災の様子なども紹介していただきました。

## 好評だった太鼓演奏 ~長寿を祝う会~

17日(土)、太鼓演奏を披露しました。わずか2回の練習でしたが、見事な演奏で会に花を添えることができました。



## ニューフェイス紹介



生徒が一人減ったところへ、ニューフェイス登場です。昨年まで留学していた升井尋也君が1年生に転入してきました。うれしいことです。

## 秋の交通安全週間

21~30日は秋の全国交通安全週間です。一旦停止すべき場所や自転車の乗り方等、この機会に家庭で考えましょう。

## おめでとう 市作文審査会受賞

海琴さん「弟からのもらいもの」：市特選→県審査へ  
英里さん「母から受け継ぐ夢」：市特選→市作文集へ掲載  
麻琴さん「幸せをかたちに」：市特選→市作文集へ掲載  
海琴さんの作文については、10月号裏に掲載予定です。

## おめでとう 市理科作品コンクール受賞

紘一郎君「鹿島・中甌・川内の雨量の違い」：市特選  
海琴さん「氷が溶けるスピードについて」：市入選